

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日：令和 7 年 4 月 17 日（木）

中学校理科の実施日：令和 7 年 4 月 14 日～4 月 17 日のうち 1 日

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第 6 学年、中学校第 3 学年 原則として全児童生徒

調査内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

中学校理科は、文部科学省 CBT システム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT：Computer Based Testing）で実施します。

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

② 質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、基本的 生活習慣等、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備 の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営 に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

時 間 割

◎小学校

4 月 17 日（木）	1 時限目	2 時限目	3 時限目
	国語（45 分）	算数（45 分）	理科（45 分）
調査実施日※ 1	※ 2		
	児童質問調査（20 分程度）		

※ 1 4 月 18 日（金）～4 月 30 日（水）のうち 1 日（学校ごとに指定）

※ 2 各学校の状況に応じて、調査時間を設定してオンライン方式で実施。調査実施日に実施できない場合は学校外での実施も可。

◎中学校

4 月 17 日（木）	1 時限目	2 時限目
	国語（50 分）	数学（50 分）
調査実施日※ 3	※ 4	
	生徒質問調査 + CBT 練習（25 分程度）	理科（50 分）

※ 3 4 月 14 日（月）～4 月 17 日（木）のうち 1 日（学校ごとに指定）

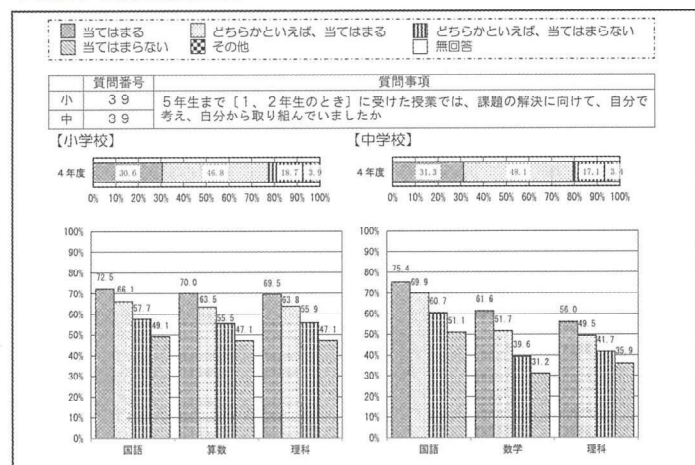
※ 4 各学校の状況に応じて、生徒質問調査→理科の順に調査時間を設定して、文部科学省 CBT システム（MEXCBT）を用いてオンライン方式で実施。4 月 18 日（金）以降は学校外での実施も可。

調査結果等の集計・分析・提供

集計・分析

- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表

▼公表する調査結果の例



提供

- ◇各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供
 - ・児童生徒の正答数分布図
 - ・設問別正答率・無解答率、類型別解答状況
 - ・質問調査の結果
 - ・各児童生徒に提供する「個人票」 など

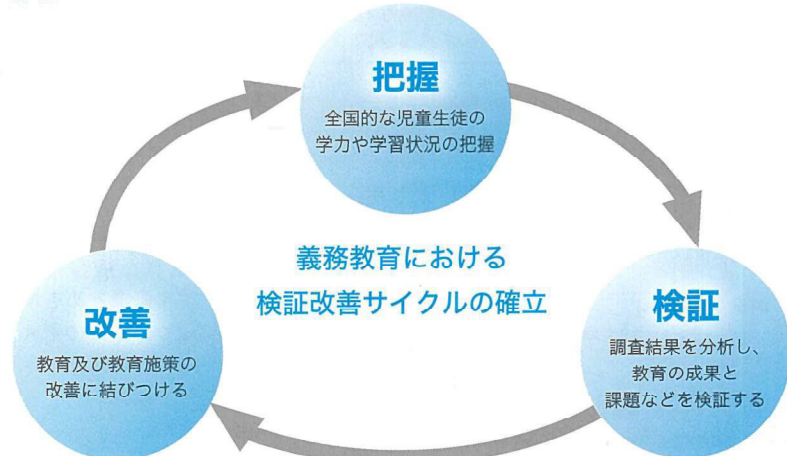
▼「個人票」のイメージ



中学校理科は、IRT スコアをベースに調査結果を示します。

IRT：児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。項目反応理論（Item Response Theory）。

調査結果の活用



国	教育の改善に向けた全国的な取組を推進 (例) 学習指導要領の改訂、各種施策の検証・改善、教員の配置等への支援、教育委員会や学校における改善の取組への支援 など
教育委員会	域内の教育の改善に向けた取組を推進 (例) 教員の配置等の工夫、教員研修の充実、学習指導等の改善のための資料の作成、保護者や地域と連携した取組 など
学校	個々の児童生徒の課題に応じた学習指導の改善に向けた取組を推進 (例) 教科に関する調査や質問調査の結果の総合的な分析、課題を踏まえた授業改善・校内研修、学習・生活習慣に関する保護者への働きかけ、放課後等における補充学習 など

◎全国学力・学習状況調査を活用するための参考資料等

■全国学力・学習状況調査解説資料

調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したもの。

■全国学力・学習状況調査報告書

調査結果を公表するとともに、調査結果を踏まえて学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成したもの。各問題について、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述。

■授業アイデア例

各学校において、今後の教育指導や児童生徒の学習状況の改善等に活用できるようにするため、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すもの。

■全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会、学校等の教育活動や、教育施策の一層の改善を図るため、大学等の研究機関の専門的な知見を活用し、高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

〈分析例〉

- ・効果的な指導方法や取組について
- ・教育委員会や学校における調査結果の分析・活用手法について
- ・児童生徒の社会的経済的背景（SES）と学力の関係について